

平成 2 1 年 6 月 2 日

報道発表資料

南海電気鉄道株式会社
株式会社ブレイザーズスポーツクラブ

堺市内の中学校では43校中わずか4校！

南海沿線で減少傾向の「男子バレーボール部」を救え！

Vプレミアリーグ所属のバレーボールチーム

～南海電鉄 & 堺ブレイザーズのコラボレーション～

スポーツ振興を通じて沿線活性化に取り組みます

「男子バレーボール部」が減少傾向！

大阪府バレーボール協会の調べによると、府内の中学校で「男子バレーボール部」が存在する学校が、ここ数年で大幅に減少しています。南海沿線である大阪府堺市の中学校では、43の中学校が存在するなか、男子バレーボール部があるのはわずか4校と、減少傾向にあります。

堺ブレイザーズとの「交流機会」を提供

南海電鉄（本社：大阪市中央区 / 社長：亘 信二）では、現在推進している経営計画「堅進126計画」において、「沿線活性化の推進」を1つの柱に定めています。そこで、同計画の具体的な取組みとして、Vプレミアリーグ所属の「堺ブレイザーズ」（所在地：堺市堺区 / 代表者：小田勝美）の選手から、沿線の3つの中学校で男子バレーボール部に所属する生徒への直接指導の実施や練習見学会の開催のほか、バレーボール大会を実施します。

南海電鉄と堺ブレイザーズが目指すもの

南海電鉄では、未来を担う中学生たちにバレーボールを通じてスポーツの魅力を伝え、一流アスリートとの交流機会を提供することにより、未来の世界プレイヤーを育成するとともに、「スポーツが活発な沿線」を目指し、沿線の活性化を図ります。

また、堺ブレイザーズは、今回の取組みが地域の子供たちと接する機会となることから、地域貢献を通じたチームに対する愛着の醸成と、男子バレーボールの競技人口拡大を目指します。

詳細は別紙のとおりです。

堺ブレイザーズの選手が生徒に
実技指導をする様子



田中幹保ブレイザーズスポーツクラブ取締役事業部長（左）と
西尾安弘南海電鉄事業開発部長



<別紙>

1. 取組み名

堺ブレイザーズコーチングキャラバン by NANKAI

2. 内容

南海沿線にある中学校3校の男子バレーボール部に、「堺ブレイザーズ」の選手（3～4人）がそれぞれ訪問し、生徒への直接指導を行うとともに、スポーツ界の厳しさの一端を体感するため、実際の堺ブレイザーズの練習を見学する機会と、練習の成果を試す機会（バレーボール大会）を提供します。

未来の可能性を秘めた中学生が一流アスリートと深く交流することで、バレーボールを通じたスポーツの醍醐味を経験していただきます。

3. 対象校

堺市立金岡南中学校（堺市北区金岡町2469番地）

忠岡町立忠岡中学校（大阪府泉北郡忠岡町忠岡東1丁目17-5）

岬町立岬中学校（大阪府泉南郡岬町深日545番地）

指導校の選定については、大阪府バレーボール協会にご協力いただきました。

4. 指導期間

平成21年6月上旬から8月下旬

**第1回目は6月4日(木) 16時から忠岡中学校と岬中学校で開催します。
ご取材希望の際は、南海電鉄・事業開発部(TEL06-6644-7102)南までご連絡願います。**

5. 指導回数

上記期間のうち、平日のクラブ活動時間内で各校6回ずつ

6. バレーボール大会の開催について

今回の指導校以外の沿線中学校も交えたバレーボール大会を開催します。

開催日：平成21年8月31日(月)

開催場所：大阪府立体育会館

7. 今後について

来年度以降については、対象校を変えて事業を継続していきます。

8. その他

今回の取組みは、南海電鉄が推進する文化振興事業「Harmonia-ハルモニア-南海」のスポーツ振興事業として行います。同事業では、関西におけるスポーツや音楽の振興をはじめ、地域やステークホルダーとの調和を目指し、ともに響きあい、共鳴するコミュニティづくりを目指しています。

音楽分野では、平成20年度より大阪フィルハーモニー交響楽団のメンバーを沿線の小学校に派遣するほか、オーケストラコンサートへ招待するなど、子供たちが本物の音楽に親しめる機会を提供しています。

【参考】堺ブレイザーズについて

1. チーム名：堺ブレイザーズ

2. 運営会社：株式会社ブレイザーズスポーツクラブ（新日鉄グループ）

3. 変遷：昭和14年(八幡製鐵所バレーボール部) 昭和45年(新日製鐵堺バレーボール部) 平成12年(堺ブレイザーズ)

4. 所属リーグ：Vプレミアリーグ

5. 所在地：大阪府堺市堺区築港八幡町1番地

6. 代表者：小田勝美

以上